

たかさう 連携だより

地域の先生方と
高崎総合医療センターを結ぶ

2025年発行
第218号
3月号

地域連携症例検討会

疼痛緩和内科・放射線治療科 2~3

疼痛緩和内科部長 田中 俊行

放射線治療科部長 永島 潤

認知症ケアチームの活動について 4

脳神経内科部長 平柳 公利

緩和ケアニュース 5

リハビリテーション室だより 6

薬剤部だより 7

栄養だより 8

医師紹介コーナー 9

地域医療連携登録医のご紹介 10~11

セカンドオピニオンのご案内 12~13

外来診療担当表 14~15

院長閑話 16

梅

高崎市
染料植物園

提供：患者サポートセンター 松井小百合

●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36

代表 (TEL) 027-322-5901

URL <https://takasaki.hosp.go.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)

(TEL) 027-322-5835

(FAX) 027-322-5925

【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のかもった看護を提供します

【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります

疼痛緩和内科

2025年1月30日、当院で開催されました第52回地域連携症例検討会では、座長に竹田幸彦先生をお招きし、放射線治療科と疼痛緩和内科・緩和ケアチームから発表させていただきました。多くの先生方にご参加いただき誠にありがとうございました。

「放射線治療科との連携～チーム介入で早急に放射線治療開始した2症例～」と題して、発表しました。2症例のうち、症例①についてご紹介します。

症例は70歳台の男性で、主訴は背部痛です。近医からの紹介で、食道がんに対し食道亜全摘、胃管再建術、腸瘻造設術を施行しました。その後、左鎖骨上リンパ節再発に対し放射線治療を行い、以降、がん薬物療法を行いました。約3年後、背中痛みが強くなり、疼痛コントロール目的に入院、翌日緩和ケアチームに紹介となりました。痛みは、背部（皮膚所見はなし）が帯状にずっと痛く、咳をすると胸部も痛い状況でした。10段階の痛みの評価（NRS）で最高10の痛みを訴え、0になることはないと話されていました。しびれるような、ジンジンする、針で刺されるような痛みと表現され、ズキズキ、鋭い痛みもあり、夜は痛みで目が覚めるとのことでした。両下肢の麻痺やアロディニアはなく、トイレ歩行は可能でした。レスキューは、「使うと効く」けど眠くなる、目が覚めると再び痛くなるようでした。訪室時、痛い状況のなか、ベッド柵をもって、“えい”と起き上がりましたが、痛くてすぐ横になる状況でした。一方、安楽な体位を聴くと、バランスボールを抱えているときで、また、座位より臥位（特に右側臥位）のほうが楽とのことでした。医療用麻薬とアセトアミノフェンの定期内服投与とレスキューとして医療用麻薬を服用しており、便秘なし、悪心あり、不快な眠気はありませんでした。肝腎機能障害や高Ca血症はなく、画像（腫瘍のTh1～Th3椎体浸潤）所見や症状から胸椎浸潤、

病的圧迫骨折に伴う痛みで、侵害受容性疼痛（体性痛）、神経障害性疼痛と判断しました。主治医と連絡がとれなかったため、他の外科医と相談し、早急な放射線治療を提案しました。放射線治療科の専門医から、治療方法、治療効果、副作用等の説明があり、本人の治療に対する承諾を得て、同日治療計画のCT撮影が行われ、翌日から治療が開始されました。治療後の効果判定では、効果ありでした。

緩和ケアチームは、放射線治療の際の痛みへの対応（下記に記載）のほか、患者さんと「夜間の睡眠の確保」を第一目標とし、医療用麻薬の調節、アセトアミノフェンを中止しNSAIDsの開始、鎮痛補助薬の開始、副作用対策、痛みのケアを行いました。ケアとして、長嶋茂雄の大ファンであったため、訪室時はそのことに触れ、痛みの閾値を上げるよう心掛けました。その後、共有した目標は達成でき、在宅医療に移行して安楽に過ごすことができました。

今回のように、当院は、早急に放射線治療が必要と判断した症例に対し、放射線治療科と迅速に連携できる環境にあります。緩和ケアチームは、放射線治療科との連携として、①放射線治療前のレスキュー投与（予防投与）、②内服レスキューで対応ができなければ、舌下錠での対応、③注射レスキューで対応ができなければ、途中の追加投与や1回量の増量なども行っています。放射線治療が完遂できるよう、今後も引き続き支援していきます。





座長
竹田 幸彦 先生
(ひだまり診療所)

疼痛緩和内科部長
田中 俊行
(左)



放射線治療科部長
永島 潤
(右)



放射線治療科

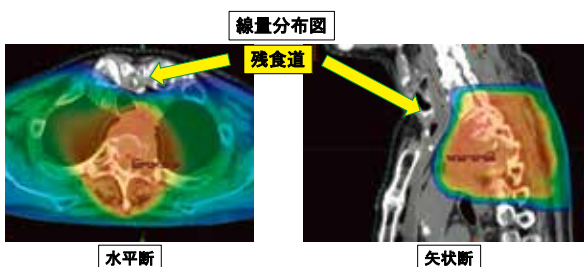
今回の症例検討会では、がん患者さんの症状緩和に放射線治療が用いられた2症例を検討しました。



症例1 食道癌術後再発 胸椎浸潤 病的圧迫骨折

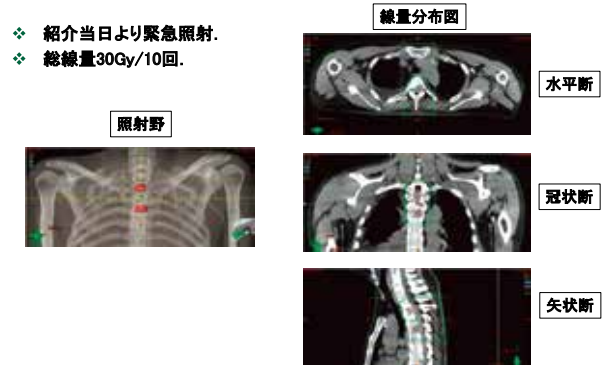
食道胃管吻合部背側のリンパ節が増大・胸椎に浸潤し、疼痛の原因となっていました。また、神経症状は出現していませんでしたが、画像所見で脊髄圧迫が見られており、早急な対応が求められました。問題点として、左鎖骨上リンパ節再発に対して照射歴があり、通常の照射方法では、食道の耐容線量を超えてしまうことがありました。そこで、強度変調放射線治療の技術を活用して、食道線量を低減しつつ、病変に必要な線量を照射することができました。竹田幸彦先生から退院後の経過についてコメントいただき、自宅でも疼痛コントロールは概ね良好であったとのことでした。従来の照射技術では、正常組織の耐容線量の点から再照射が困難であった症例も、最新の照射技術を活用することで再照射が可能場合がありますので、ご相談ください。

- ❖ 前回照射時に残食道に60Gy相当の線量が照射されており、前後対向2門照射法では、食道の耐容線量をオーバーしてしまう。
- ❖ 強度変調放射線治療の技術を活用して、食道線量を低減しつつ、病変に必要な線量を照射することが可能。



症例2 大腸癌再発 多発性骨転移 脊髄圧迫症

下肢麻痺が出現してから1週間後に放射線治療科に紹介となりましたが、完全麻痺状態でした。紹介当日より緊急で放射線治療を開始しましたが、症状改善は得られませんでした。脊髄圧迫症は、症状出現後、できるだけ早期の治療開始が症状改善に重要とされています。特に完全麻痺や急速な症状の悪化を伴う場合は、早急に治療を開始する必要があります。当科でも緊急照射で対応しています。



がん診療連携拠点病院として地域の先生方と連携し、患者さんが「病気になってもできる限り今まで通り生活できるように」スタッフ一同取り組んでおります。お困りのことがありましたらいつでもお気軽にご相談ください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



認知症ケアチーム の活動について



脳神経内科部長 平柳 公利

当院の認知症ケアチームは2018年1月から活動を開始し7年ほど経過しました。日々の活動は認知症看護認定看護師（篠遠、南本、羽鳥）、心理療法士（渡辺）を中心に、認知症を有する入院患者さんの巡回を行っています。対象患者さんの状態に応じ、心理療法士が認知機能評価を行い、その結果をもとに具体的なケアを検討し病棟看護師とともに実践しています。私は脳神経内科に所属する医師ですが、認知症ケアチームの委員長として参加させていただいており、特に対応が難しい患者さんをピックアップして、主に薬物療法についての提案をさせていただいています。

最近の認知症ケアにおける大きな話題としては、令和6年度の診療報酬改定で身体拘束最小化への取り組みが義務化されたことが挙げられます。正確には義務化されたわけではありませんが、組織的に身体拘束を最小化する体制が整備されていない場合には入院基本料を減算すると通告されており、事実上は義務化されたものとみなされます。この改定を受けて当院でも認知症ケアチームと兼任で、「身体抑制最小化チーム」を発足しました。

認知症のある患者さんは入院を契機にせん妄を合併する頻度が非常に高く、当院のような急性期病院に入院した際には、安静を維持するためや必要な医療行為を安全に遂行するため、しばしば身体拘束が必要となります。身体拘束を実施するには、「切迫性」、「非代替性」、「一時性」の3要件を満たす必要があり、身体拘束の妥当性については日々の病棟カンファレンスで協議を行っています。

2025年問題をむかえ後期高齢者人口が急増するに伴い、認知症を有する入院患者さんの割合もますます増えてきています。そのなかにあって、身体拘束の実施率を現状よりも下げてゆく取り組みは容易なことではありません。当院では必要性のない身体拘束は一切行われていないと信じておりますが、認知症ケアチームは多職種と連携し患者さんへ適切なケアが提供できるよう引き続き尽力してまいります。



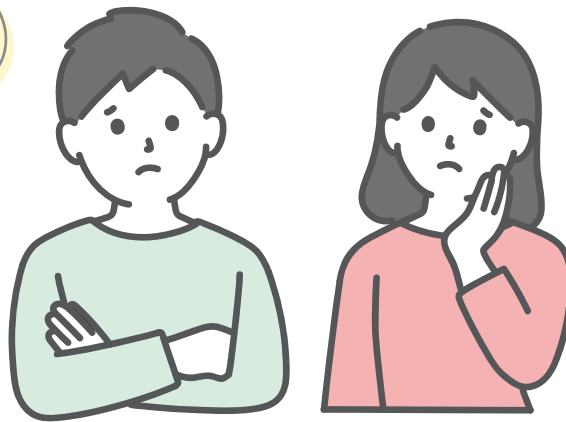
緩和ケア ニュース

がん相談支援センターでは、治療と仕事の両立についてソーシャルワーカーや看護師がお話を伺い、相談内容に応じて関係機関との連携を図りながら共に考えていきます。群馬産業保健総合支援センターの定期出張相談も開催中です。

こんなお悩みありませんか？

治療しながら
仕事を続けたい

勤務先に
病気や治療のことを
どう伝えたら？



治療に合わせた
勤務時間や休暇を
取得したい

これからの働き方を
誰に相談
したらいいか

定期相談窓口では群馬産業保健総合支援センターの両立支援促進員（保健師または社会保険労務士）に直接相談ができます。予約は不要です。ぜひご利用ください。

定期相談窓口 開催情報

- 日時** 第2水曜日：保健師
第4水曜日：社会保険労務士
- 場所** 2階パン屋前

お問い合わせ先

高崎総合医療センター内
がん相談支援センター
☎027-322-5017(直通)





リハビリテーション室 だより

花粉症を乗り越えるためのリハビリテーションと心身のケア

花粉症は春や秋に多くの人々を悩ませるアレルギー疾患です。鼻水や目のかゆみ、くしゃみなどの症状が一般的で、日常生活に支障をきたすことがよくあります。花粉症が長引くと、体力の低下や集中力の欠如、精神的な疲労感が増すこともあります。これらの症状は、リハビリテーションを取り入れることで軽減される可能性があります。

1. 呼吸リハビリテーション

花粉症の症状のひとつに鼻づまりがあります。これにより呼吸が浅くなり、日常生活に支障をきたします。呼吸リハビリテーションは呼吸の質を改善し、体のリラックスを促進する方法として有効です。深い呼吸や腹式呼吸を意識的に行うことで鼻づまりの軽減や気道の開放が期待できます。

2. 運動療法

花粉症の症状がひどくなると外出を避けることが多くなり運動不足に陥りがちです。しかし、軽い運動やストレッチは免疫力を高め、体全体の血行を良くする効果がありま

す。特に、ウォーキングやヨガなどの有酸素運動は呼吸を意識的に深めることができ、症状の緩和に役立ちます。また、運動を通じて心身のリフレッシュができるため精神的な疲労感も軽減されます。

3. 心理的ストレスへの対処

花粉症による体調不良は精神的にも影響を及ぼすことがあります。症状が長期間続くことで、イライラや不安感、抑うつ状態に陥ることもあります。深呼吸や好きな音楽を聴くこと、趣味を楽しむなど、リラックスできる方法を試すことで心理的な負担を軽減し、症状に対する耐性を高めることができます。

まとめ

花粉症に対するリハビリテーションは、症状の軽減とともに生活の質を向上させることができます。花粉症による影響を最小限に抑えるためには個々の症状や状況に応じたアプローチが必要です。花粉症が日常生活に与える影響を軽減し、より快適な生活を送るための一助となりましたら幸いです。



薬剤部 だより

薬剤部 松井 雄太

周術期における薬剤師の役割

「周術期」という言葉に馴染みのない方も多いかと思います。手術の前から術中、手術の後までの一連の期間を周術期と呼びます。周術期では麻酔薬や痛み止め、抗菌薬など様々な薬が短期間のうちに使われることがあります。

当院では、安全に手術を受けてもらうために事前に患者さんから他職種と同様に薬剤師が外来や病棟でお話を伺っています。持参薬やおくすり手帳を活用して服用歴や栄養補助食品（サプリメント）の有無、お薬による副作用歴やアレルギーの有無、過去にかかった病気、体調の変化などを確認しています。

服薬している薬品や使用中のサプリメント、健康食品などによっては手術時の出血や生理機能に悪影響を及ぼす可能性もあります。代表的なお薬として、血液をさらさらにする薬や血糖をコントロールする薬、血栓のリスクがある薬などがあります。健康食品の一部には血圧や心拍数に影響するものや麻酔

薬の効果や持続時間に影響を与えるもの、出血のリスクをあげる可能性がある成分を含むこともあります。安心して周術期を過ごせるように事前に状況を把握し、継続もしくは中止の必要性を検討することがとても大切です。

薬剤師は得られた情報を多職種と連携・共有しながら周術期の薬学的管理をより確実に行い、周術期の薬物治療の有効性と安全性の確保に寄与することで円滑に手術に臨めるようにサポートいたします。

周術期チームの一員として多職種と協同し、患者さんに寄り添いつつ安心・安全な医療を提供するよう今後も努力していきます。手術に関する話を聞くと不安になる方も多いかと思います。薬に関することで（もちろんそれ以外でも）相談があれば気軽に薬剤師にお声がけ頂ければ幸いです。今後どうぞよろしくお願いいたします。



栄養だより

桃の節句とは

5節句の1つで、起源は古代中国。別名、上巳の節句とも呼ばれています。現在は女の子の健やかな成長を祝う行事となっていますが、元の意味は、「季節の旬の植物から生命力をもらい、邪気を払う」といった無病息災を願うものです。

※上巳節：3月初めの巳の日

桃の節句の由来

人の代わりに紙の人形に厄災を払ってもらい、川へ流す「流し雛」や平安時代に宮中の女の子が遊んでいた「ひいな遊び」等が由来となっています。

なぜ3月3日に祝うのか

古代中国では上巳の節句に水辺でけがれを払うという習慣がありました。これが日本に伝わり、「3月3日には水辺でお払いし、祝い膳を囲む」という風習が生まれ、現在の雛祭りへと発展しました。雛祭りが全国的な行事として定着したのは江戸時代以降と考えられています。

雛祭りといえば？

蛤のお吸い物

蛤は仲睦まじく、未永く暮らす夫婦の象徴となり、「良縁に恵まれ、一人の男性と添い遂げられるように」という意味があります。

菱餅

桃色は魔除け、白色は清浄又は子孫繁栄、緑色は健康を意味すると言われています。

白酒

中国の蒸留酒。コーリャンと呼ばれるイネ科の仲間や麦、とうもろこし、じゃがいも、さつまいも等が原料になっています。



3月3日といえば、ひな壇を飾り、ハレ食を皆で食べるというのが定着していますが、雛祭り限定のイベントや旬の食材を使った料理を楽しむのも1つかと思います。

健やかな上巳の節句を送り、新年度に向けて免疫を上げていきましょう！

医師紹介

当センターの医師を紹介します。



外科

ひらい けいたろう

平井 圭太郎

高崎総合医療センター外科の平井圭太郎です。群馬県で外科診療に20年以上携わってきました。当院には2016年4月に赴任し、今年で10年目を迎え、昨年に外科部長を拝命しました。専門は肝胆膵外科です。今では教育制度が確立し、医師の働き方改革も進められてきましたが、私が若い頃には手術は見て覚える、技術を盗めと言われてきました。今とは違い鏡視下手術もなく、いつでも手術動画を確認できる環境ではありません。何とか時間を作って手術室に行き、脚台を何個も積んで登り先輩医師の手術を必死で見っていました。また、当時の外科は休みもなく働くことがあたり前とされていた時代でもあり、病院に何日も寝泊まりした事や時に診察台で寝ていた事が懐かしいです。私はそんな時代の最後の世代で、古き良き時代の外科から新しい時代の外科まで経験している事は今の自分に大きな力になっています。当院での9年間で、外科の年間手術件数は1.5倍に増加しました。毎日忙しく勤務しておりますが、常に安全面に配慮し、安心して医療を受けられるように診療体制を整えてきました。今後も地域に高いレベルで貢献できるように外科は一丸となって診療してきます。よろしくお願いいたします。



消化器内科

いど けんた

井戸 健太

今年度の4月より高崎総合医療センターに赴任しました、消化器内科の井戸健太と申します。出身大学の山形大学で2年間初期研修した後、生まれ育った群馬県に貢献したいと思い、群馬大学の消化器内科に入局し、後期研修を開始しました。昨年度は群馬大学、前橋赤十字病院で半年ずつ研修しました。当院での勤務はまもなく1年となりますが、まだまだ慣れないことが多く、チームや他診療科の先生方、病院スタッフの皆様を支えていただきながら勤務しております。東毛地域出身ですので、県内最多の人口で非常に発展している高崎市での生活はたくさんの発見があり、新鮮な気持ちで毎日を送っています。日々の診療を通して、地域の医療に貢献できるよう尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

地域医療連携登録医のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまとパートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

いわた内科クリニック

院長あいさつ

患者さんへの献身と深い関わりあい 治療に当たっての正直さと慎重さが求められていると思います。



いわた内科クリニック
院長
岩田 展明



診療科・病院案内

内科・循環器・消化器・呼吸器・血液内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	/	●	●	●	/
午後(3:00~6:00)	●	●	/	/	●	/	/

群馬県高崎市石原町4171
TEL:027-327-1241

認定内科専門医として幅広く内科をみています。重症度の高い患者さんの場合は、高崎総合医療センターと密な連携をお願いしております。又、血液専門医として血液、腫瘍内科関連の相談を行っています。

中澤医院

院長あいさつ

病院と地域の診療所の役割分担は、近年さらに鮮明になっています。急性期を脱したかたの日常生活が、より健やかなものとなりますよう、医療的に支え、お手伝いしたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

当院のホームページをぜひご覧ください。



中澤医院
院長
中澤 弘企



診療科・病院案内

内科・呼吸器内科・心療内科・小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	◆	/
午後(14:30~18:30)	●	●	●	●	●	■	/

◆ 土曜の午前は12:00までです。

■ 土曜の午後は14:00~16:30までです。

群馬県高崎市筑縄町34-9 TEL:027-361-2996
<https://www.nakazawa-iin.com>

昭和39年開業、平成16年に父より継承しました。内科・呼吸器内科を主として診療をしております。当院は、在宅酸素療法に力を入れています。薬は院内処方ですので、雨の日や暑い日・寒い日も安全です。安心してご来院ください。

大竹外科胃腸科

院長あいさつ

開院は昭和 58 年 6 月ですので、既に 40 年以上が経過しております。

これからも医師としての「誇り」を持って、患者さんの為になる医療をしていきたいと考えております。



大竹外科胃腸科
院長
大竹 雄二



診療科・病院案内

外科・胃腸科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(15:00~18:00)	●	●	△	●	●	△	△

群馬県富岡市田篠947
TEL:0274-64-0808

標榜が「外科・胃腸科」なので胃腸疾患の患者さんが多いのですが、最近は高血圧や糖尿病などのいわゆる生活習慣病の患者さんも沢山来られます。診断から治療までなるべく自院にて完了できるようにと念じて治療を行っておりますが、一人では無理な事態が必ず発生します。その際には患者さんにとって最良の手立てを講じたいと考えています。

訪問診療もしておりますので、お気軽にご相談ください。

県央医科歯科クリニック(歯科)

院長あいさつ

私たちの日常生活において食事を摂るという行為は、健康な生活を送る上で最も重要な行為の一つです。お口の中の健康を保つことで、皆様の生活の質の向上に少しでもお役に立ちたいと思っています。



県央医科歯科クリニック
院長
井上 学



診療科・病院案内

一般歯科・口腔歯科・小児歯科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	△	●	●	△
午後(14:00~18:30)	●	●	●	△	●	●	△

当院は診療・健診ともに**予約制**となっております。
最終予約は診療終了時間の 30 分前。

群馬県高崎市中泉町610-2
TEL:027-395-6677

当院は医科も併設しているので、お口の中から体の中まで健康上のお悩みに応えていけると思います。皆様の声に耳を傾け、しっかりと説明させていただき、精一杯頑張って地域医療に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を実施しております。
概要につきましては以下のとおりです。

01 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

02 実施診療科 **【各科の専門医が対応いたします】**

内科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管内科、
小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、
呼吸器外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、
眼科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科



予約方法

完全予約制 代表電話：027-322-5901

※代表にお電話を頂き、『セカンドオピニオン係』とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は **月曜～金曜 8時30分～12時迄** となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し
当センターより連絡させていただきます

外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

費用

30分以内 5,500円（消費税込み）

30分以上 11,000円（消費税込み）

セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。

医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的に勧めしております。

セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
呼吸器内科	中川 純一	呼吸器全般	火、金
消化器内科	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	随時
	増田 智之	食道、胃、大腸	
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
	福田 延昭	心不全、弁膜症	木
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	冢田 敬輔	上部消化管	水
	平井 圭太郎	肝臓、胆のう、膵臓	水
	宮前 洋平	下部消化管	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳がん全般・甲状腺外科	随時
	高他 大輔	乳がん全般・甲状腺外科	随時
心臓血管外科	小谷野 哲也	心臓血管の外科治療	火、木、金
呼吸器外科	伊部 崇史	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	木
	高坂 貴行	肺がん、縦郭腫瘍、呼吸器外科全般	火
脳神経外科	田中 志岳	脳腫瘍	月
	笹口 修男	水頭症、脳外科一般	木
	佐藤 晃之	血管障害	金
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	柴田 康博	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	永島 潤	悪性疾患の放射線治療	
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	柴野 正康	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

令和6年3月22日現在

外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正 通	佐藤 正 通 <small>予約のみ</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small>	佐藤 正 通 <small>午後</small>	佐藤 正 通
栄養食事指導外来		植原 大 介 <small>午後</small>	(田村 耕 成) <small>予約のみ</small>	(合田 史) <small>午後</small>	
腎臓・膠原病リウマチ内科	<交代制> <small>午前</small>	荒木 祐 樹 <small>午後</small>	渡辺 光 治 <small>午前</small>	荒木 祐 樹 <small>午後</small>	中里見 征 央 <small>午前</small>
血液内科	(三井 健 揮) <small>午後</small>				
内分泌代謝内科	渋沢 信 行	岡田 研 也 <small>午前</small>	植原 良 太 <small>午前</small>	渋沢 信 行 <small>午後</small>	渋沢 信 行 <small>午後</small>
脳神経内科	清水 千 聖 <small>午前</small>	平柳 公 利	唐澤 将 紀 <small>午後</small>	柴田 真	今泉 純
呼吸器内科	井上 俊 <small>午前</small>	細野 達 也 <small>午前</small>	小林 頂 <small>午前</small>	中川 純 一 <small>午前</small>	細野 達 也 <small>午前</small>
消化器内科	長沼 篤 篤 <small>午前</small>	星野 崇 <small>午前</small>	柿崎 暁 <small>午前</small>	長沼 篤 篤 <small>午前</small>	星野 崇 <small>午前</small>
	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	安岡 秀 敏 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>
	上原 早 苗 <small>午前</small>	佐野 希 望 <small>午前</small>	増田 智 之 <small>午前</small>	鈴木 悠 平 <small>午前</small>	書上 愛 <small>午前</small>
	成清 弘 明 <small>午前</small>	成清 弘 明 <small>午前</small>	井戸 健 太 <small>午前</small>	小林 倫 太郎 <small>午前</small>	小林 倫 太郎 <small>紹介のみ</small>
	石原 弘 <small>午後</small>		石原 弘 <small>午後</small>		
上部内視鏡検査	星野 / 増田 / 書上	安岡 / 増田 / 小林	上原 / 佐野 / 成清	上原 / 佐野 / 成清	長沼 / 鈴木 / 井戸
心臓血管内科 (午前)	太田 昌 樹	高橋 伸 弥	広井 知 歳	福田 延 昭	小林 紘 生
新患外来(午前)	村田 智 行	大駒 直 也	羽鳥 直 樹	羽鳥 直 樹	柴田 悟
不整脈外来(午後)	高橋 伸 弥	柴田 悟	村田 智 行	羽鳥 直 樹	大駒 直 也
心不全総合外来(午後)	太田 昌 樹	太田 昌 樹	太田 昌 樹	太田 昌 樹	小林 紘 生
ペースメーカー外来(午後)		高橋 伸 弥			太田 昌 樹 <small>第2,4週</small>
精神科	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>	山崎 雄 高 <small>午前</small>
小児科	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午後</small>	五十嵐 恒 雄 <small>午後</small>
	内田 亨 <small>午後</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午後</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small>	小笠原 聡 <small>午前</small>
	小川 百 花 <small>午後</small>	斎藤 淑 人 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午後</small>	植原 実 紅 <small>午後</small>	佐藤 幸 一 郎 <small>午後</small>
	加藤 裕 之 <small>第2,4週</small>	(神尾 綾 乃) <small>第1,2,3,5週</small>	(滝沢 琢 己) <small>第2,4週</small>	(西澤 拓 哉) <small>午後</small>	坂本 康 大 <small>第3週</small>
小児外科	(西明・高澤慎也) <small>第1,3週</small>	(西明・高澤慎也) <small>第4週</small>			(浅見 雄 司) <small>第3週</small>
外科 (消化器)	坂元 一 郎 <small>午前</small>	小川 哲 史 <small>午前</small>	家田 敬 輔 <small>午前</small>	平井 圭 太郎 <small>午前</small>	宮前 洋 平 <small>午前</small>
栄養サポート外来	齋藤 秀 幸 <small>午後</small>	真木 茂 雄 <small>午後</small>	生方 泰 成 <small>午後</small>		栗山 令 <small>午後</small>
禁煙外来		小川 哲 史 <small>午前</small>			
ストーマ外来		小川 哲 史 <small>午後</small>			
			第2,4週午後・予約	予約	

※2024年10月1日より「神経内科」は「脳神経内科」に名称が変更となりました。

01 外来診療受付時間 8:30~11:00まで (予約の場合は最終予約時間まで) ※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない方は、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。
- 精神科の初診の患者さんは完全予約制となります。精神科外来までご連絡をいただき、来院日のご予約をお願いいたします。
- 受診時にはお薬手帳、薬剤情報提供書または飲んでおられるお薬をご持参ください。

02 休診日 土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示もしくはホームページをご覧ください。

地域医療支援・
連携センターから
地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、
地域医療支援・連携センターを通した
事前予約にご協力下さい。

()の医師は非常勤です。

令和6年11月11日現在

	月	火	水	木	金
泌尿器科	井上雅晴 栗原聰太 <small>午前</small>	柴田康博 栗原聰太	交代制	柴田康博 井上雅晴 <small>午前：通常 / 午後：不妊外来</small>	交代制
疼痛緩和内科 看護外来	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>	田中俊行 <small>午前・午後</small>
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small> <手術日>	鯉淵幸生 高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>午前</small>	鯉淵幸生 高他大輔 本田周子	(荻野美里) (青木麻由) 交代制 <small>第2,4週午後：予約 第1,3,5週午後：予約</small> <手術日>	高他大輔 成澤瑛理子 本田周子 <small>第2,4午前 第1,3,5週午前</small> <手術日>
心臓血管外科	<手術日>	交代制 <small>午後</small>	<手術日>	小谷野哲也 羽鳥恭平 <small>午前 午後</small>	茂原淳 <small>午前</small>
呼吸器外科	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>第1,3週午前 / 第5週午前・午後 第2,4週</small>	<手術日>	伊部崇史 高坂貴行 牛久保陸生 <small>午前 午後</small>	<手術日>
整形外科 骨粗鬆症外来	荒毅 信太晃祐 茂木智彦	大澤敏久 大島淳文 保科大地	荒毅 信太晃祐 一ノ瀬剛 保科大地	新井厚 茂木智彦 <手術日>	大澤敏久 一ノ瀬剛 大島淳文
形成外科	交代制 <手術日>	中村英玄 山田有実 <small>午後</small>	中村英玄 山田有実 <small>第1,5週午前 / 第2,3,4週午後 第2,3,4週午前 / 第1,5週午後</small>	<手術日> 山田有実 <small>午前</small>	中村英玄 <手術日> <small>午前 午後</small>
脳神経外科	田中志岳	齋藤貴寛	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科	交代制 <small>午前</small>	岡田悦子 伊藤加奈 <small>午前</small>	岡田悦子 太田円莉 <small>午前</small>	伊藤加奈 (井上千鶴) <small>午前</small>	岡田悦子 太田円莉 <small>午前</small>
産婦人科 遺伝性腫瘍外来	伊藤郁朗 黒住未央 東杏莉	青木宏 黒住未央 宇津木秀勅	<産後健診> (井上直紀) <small>午前</small>	小田洋樹 (金井眞理) <small>午前 午後</small>	伊藤郁朗 青木宏 東杏莉
眼科	土屋明 <small>紹介・予約</small>	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻咽喉科頭頸部外科	高橋克昌 岡宮智史	岡宮智史	<手術日>	高橋克昌	高橋克昌 岡宮智史 <small>午前</small>
放射線治療科	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (堀込瑛介) <small>午前</small>	永島潤 弓崎晃	永島潤 弓崎晃 (富澤建斗) <small>午前</small>
歯科口腔外科 新患外来	柴野正康 田中斉 田中斉	<手術日>	柴野正康 田中斉 柴野正康	柴野正康 田中斉 柴野正康 田中斉 <small>午後 午前</small>	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 <small>第1,3,5週のみ</small> (倉持真理子)	稲川元明 (倉持真理子) (荒井亮・辻野啓一郎) <small>第2,4週のみ</small>	稲川元明 (倉持真理子)	稲川元明	稲川元明 (倉持真理子)

※2024年10月1日より「耳鼻いんこう科」は「耳鼻咽喉科頭頸部外科」に名称が変更となりました。

03 予約について

当院は「医療機関からの紹介患者事前予約制」をとらせていただいております。

医療機関様にはお手数をおかけしますが、予約の際には「事前予約申込書」に必要事項を記載し、地域医療支援・連携センターへFAXにてご依頼ください。折り返しお電話で予約日時の連絡をさせていただきます。

※分娩希望についてはこの限りではありません。

※心臓血管内科は平日8:30~11:00までに紹介状を持参のうえ来院していただけますと当日受診が可能です。

※消化器内科で早めの対応が必要な患者さんは平日11:00~15:00までに紹介状を持参のうえ来院していただければ対応させていただきます。(予定での紹介が可能な患者さんは地域医療支援・連携センターを通しての予約をお願いします。)

04 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター

医療機関専用ダイヤル: 027-322-5835 《平日 8:30~18:30 / 土曜日 8:30~17:15》
FAX: 027-322-5925 《FAXは24時間受け付けています。お返事は翌営業日になります》

院長閑話

vol.45

上毛かるた考

院長 小川 哲史



「上毛かるた」は群馬県の郷土かるたで、昔は群馬県に生まれた子供は掛け算九九を覚えるように誰もが暗唱していました。ところが昨年の暮れに県内在住の満15歳以上3千人に実施したアンケートによると、全部で44の読み札のうち半分以上暗唱できる人は50.5%だったそうです。その結果を知った県知事が「5割というのは少なく衝撃的。復活のため相当予算をかけてもいい」と大いに危機感を示し、そのことが上毛新聞の社会面ではなく、なんと一面トップ記事で紹介されました。他県の人からすれば「たかが郷土かるた」と思うでしょうが、このような「事件扱い」になることこそ、上毛かるたが県民のアイデンティティを形作っている証で、かるたの暗唱が県民の帰属度、愛着度を測る方法、あるいは踏み絵であるとも言われる所以ですね。

さて、上毛かるたは戦後すぐの昭和22年に、連合軍総司令部(GHQ)により学校での地理や歴史の授業が停止されていたため、子供たちに素晴らしい故郷の歴史や文化を伝えようと、群馬県出身の教育者であった浦野匡彦氏の発案により、県内各方面から題材を募り、教職者や宗教家、郷土史家、文化人や画家などとの共同で作られました。

かるたに読まれた人物が興味深いです。「平和の使徒 新島襄」「心の燈台 内村鑑三」「和算の大家 関孝和」「歴史に名高い新田義貞」「誇る文豪 田山花袋」などは全国的にも有名で、読み札の表現も素晴らしいですが、「老農船津傳次平」「太田金山子吞吞龍」「沼田城下の塩原太助」「天下の義人茂左衛門」など「いったい誰?」という感じで、絵札をみても要領を得ず、かるたに採り上げられたことでのこれまでの知名度といえますね。

一方、高山彦九郎、国定忠治、小栗上野介忠順は、人物の選定過程でGHQの指令によって不採用となったそうです。その理由は、高山は皇国史観のため、国定は反社会的勢力、小栗は彼が設立した横須賀製鉄所で造られた多くの軍艦が米国と戦ったことが理由だったそうです。キリスト教関連が大きく扱われていることも併せて、GHQ統制下時代の気運が分かりますね。今考えると、小栗上野介はもっと高く評価されるべきだと思いますし、文学的な業績から言えば萩原朔太郎が入っていないのも不思議です。

素晴らしい絵札はたくさんありますが、おかしな絵札もありますね。「昔を語る多胡の古碑」は、本来なら多胡の古碑そのものが描かれるのですが、絵札には古碑が収められている小屋が描かれていて、何とも奇妙です。また、個人的に不満なのは「裾野は長し赤城山」。絵札に描かれた前橋方面から見る赤城山は手前に鍋割山が大きく張り出して、その山容はどうもイマイチです。その一方、伊勢崎方面から見る赤城山は、山々が大きく左右に連なりその端に長く美しく伸びる裾野、その堂々とした壮麗な姿は実に美しく、見るたびに群馬の誇りだと思います。絵札にはこれを描いてほしかった!

いい読み札もたくさんありますね。「つる舞う形の群馬県」「雷と空つ風 義理人情」など、短い語句で見事に群馬県を表していてリズムもよく素晴らしい。また「世のちり洗う四万温泉」、世のちり洗うとは秀逸ですね。絵札とも調和して草津や伊香保と違った四万の魅力を感じます。ところで太宰 治が四万温泉に滞在し写した写真が残されているそうで、そう思うと「世のちり洗う」が、なんだか別の意味にも感じられます。

さて、みなさん、「誇る文豪田山花袋」の「蒲団」は読んででしょうか。作家自身の赤裸々な告白を題材とした私小説で、当時、大変な反響がありました。主人公は妻子持ちの中年作家で、家に住み込みの若く美しい女性の弟子に恋をしますが、やがてその娘は彼のもとを去っていきます。その後しばらくして思い出がよみがえった主人公は、押し入れから彼女が使っていた蒲団を引き出し、性欲と悲哀と絶望の中、蒲団に残る彼女の匂いを心ゆくまで嗅ぎながらむせび泣く…。

小説のこのラストは、現代でもかなり過激で衝撃的です。しかしその場面を読みながら、はからずも絵札の中の花袋の老いた姿が重なり…。何ともいえない感じです。

(2月18日)

Information

行事などのお知らせ

第54回地域連携症例検討会

泌尿器科領域疾患の診断と治療の連携

日時：2025年3月11日(火)
18:45~20:00

演者：高崎総合医療センター
外科系診療部長 柴田 康博

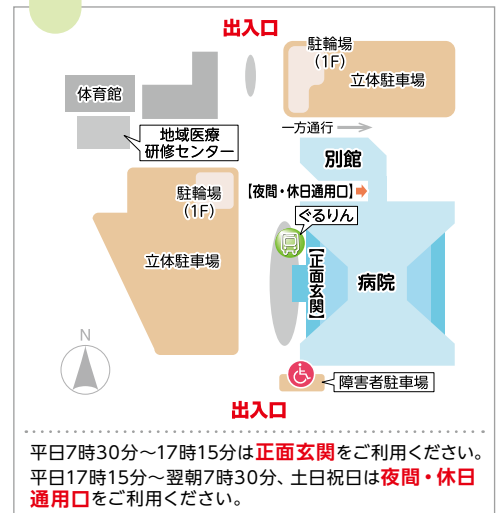
対象：医療従事者
高崎総合医療センターよりWEB配信
※申し込み必要

第148回カンサーボード

日時：2025年3月27日(木)
18:00~

診療科：耳鼻咽喉科頭頸部外科
会場：高崎総合医療センター 講堂
対象：医療従事者
※申し込み不要

高崎総合医療センター案内図



登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願い致します。

電話 **027-322-5835** (医療機関専用ダイヤル)

ホームページより本冊子のバックナンバーをご覧頂けます

<https://takasaki.hosp.go.jp/kouhoubackno.html>

検索



Facebook



Instagram



独立行政法人国立病院機構

高崎総合医療センター